みんなの広場

PATIOとは「中庭」という意味。
町民の皆さんが集い、
自由に意見を語り合う広場です。



ひとこと

町のお金の使い道

吉田喜代子さん（寺中・26区）

今月号も情報満載で大変良かったです。町の財政情報が分かりやすく一般会計が共に健全に運営されていることを良く理解できました。

PN・のぶお

決算報告の漫画に登場していたタクヤが毎回見たいです。

歯はいつまでも健康に

大塚久男さん（前谷東原・2区）

私ごとですが、歯周病には長年悩まされています。今月号の特集記事はとても参考になりました。ありがとうございました。

PN・ついんず

今年は節目の年で歯周病検診を受けました（職場の受診券を使用）。年に一度の定期健診をしているおかげで歯を褒められました！歯からいつまでも健康でいたい！

PN・コジマ

今回は歯周病の特集でしたが、健康についてのページは特に勉強になります。

予約いらずで気軽にストレッチ

PN・じゅん

予約不要でフラッと参加できるという、ヨガと自重トレーニングが気になっているので参加するか検討したいと思います。

PN・まさき

予約がいらないので、体にプラス＋ヨガストレッチに参加したいと思います。

まちかど情報板

○イベント

大泉高校「秋の泉農フェア」

▼**日時** 11月21日㊏午前9時～11時
▼**会場** 県立大泉高等学校内
▼**内容** 秋冬野菜や草花・食品加工品の販売、体験コーナー、パネル展示
▼**問合先** 県立大泉高等学校農場部☎62-3564

【超高齢化社会に向けた老健の取り組み】～今後あるべき老健の姿～

▼**日時** 11月28日㊏午後1時
▼**会場** カルピスホール（館林市文化会館）
▼**内容** 【特別講演】超高齢社会における認知症診療の未来、【シンポジウム】超高齢化社会に向けた取り組み～それぞれの立場から～
▼**講師** 池田学（大阪精神医療センター、脳とこころの未来医療センター長）
▼**参加費** 無料
▼**申込方法** 下記QRもしくは電話で申し込む（電話での申し込みは午前9時～午後5時）

申込はこちら

▼**申込先** 介護老人保健施設 虹の郷すわ☎71-0123
▼**問合先** 群馬県老人保険施設協会☎027-233-0350

○お知らせ

白鳥を愛する会

白鳥を愛する会では白鳥の保護のためエサ（麦または米）を募集します。
▼**日時** 11月1日㊏から令和9年2月28日㊏までの㊏㊐午前11時～午後3時
▼**会場** ガバ沼に直接持参
※会場に直接持参できない人は事前に役場商工振興課に連絡する。
▼**会員募集** 白鳥を守るために活動してくれる人
▼**問合先** 役場商工振興課☎47-5010

おうらの森主催講座

講座	第17回緑化講座	第18回緑化講座
日時	12月6日㊏ 午前10時～11時30分	12月17日㊍ 午前10時～正午
場所	おうらの森	おうらの森
テーマ	冬の玄関を彩る寄せ植えづくり	これだけは知っておきたいマツ類の整姿剪定の仕方
定員	30人（先着順）	30人（先着順）
申込開始	11月16日㊐	11月24日㊋
申込・問合先	おうらの森☎88-7188	



▶何か手がかりや情報を持っている人は上記まで連絡をお願いします

わが家のアイドル



中嶋 大夢（あゆむ）さん・結加さん
歩夢くん・（2歳1カ月）
（店高原・28区）

歩夢は元気で人懐っこい男の子。保育園では朝から元気なので、お兄さんやお姉さんから大人気です。いつも大好きな車のおもちゃを手に持って、お家の中や外でも走らせて遊んでます。最近はおしゃべり出来るようになったけど、いろんなことに「イヤイヤ」言ってますね（笑）。これからも、みんなから好かれる優しさや、困っている人を助けられるヒーローのような強さを持つ子に育ってね。

ORA TOWN Quiz 広報おうらクイズ

クイズに答えて GET しよう

はがき、または電子申請から応募してください。全問正解者の中から、抽選で 10 人に 500 円のコハクペイをプレゼント。

◀申請はこちら

【今月の問題】

第１問 邑-1GPで3連覇を果たしたチームは？
A.えいえい　B.せいせい　C.かいかい
（ヒント 10～11ページ）

第２問 おうらブランドに認証された食パンは○○○食パン
A.新時代　B.全自動　C.最先端
（ヒント 15ページ）

【アンケート】

Q1　広報おうらで取り上げてほしい企画や内容を教えてください
Q2　広報おうらに関する意見や感想を教えてください

応募方法 はがきに、答え（例：第1問―A）・住所・行政区・名前・年齢・ひとことまたはアンケートの回答を書いて郵送する
宛　先 〒370-0692　邑楽町役場企画課「広報クイズ」係
締　切 11月17日㊋（当日消印有効）※当選者は広報おうら次号で発表

【10月号の当選者】（応募数40通、全問正解39通）

福島五月（4区）川島翔也（4区）横山陽奏（6区）富樫保幸（11区）
板橋浩之（12区）池田茉那（13区）大山香奈子（16区）倉上彩夏（22区）
阿部喜恵子（23区）三ツ村教子（29区）　※敬称略

投稿大募集

①イラスト・絵手紙 ②４コマ漫画 ③詩・ポエム ④短歌・俳句 ⑤告知コーナー（イベント案内やメンバー募集など）
ご質問・ご意見は、はがき・電話・FAX・Eメールなど、どんな方法でも結構です。掲載者には粗品を進呈します。

●あて先 〒370-0692（住所は不要）邑楽町役場企画課広報広聴係
☎47-5007 FAX 89-0136 ✉koho@swan.town.ora.gunma.jp
※誌上匿名は OK ですが、記念品発送などに必要ですので、必ず実際の名前・住所・年齢・電話番号をお書き添えください。

文芸

俳句

潰されし梶の実横目に散歩道　上州　仙人
木犀や匂い知らしむ夕間暮れ　春日　瑞章
コスモスやトンボと遊ぶ秋の風　坂本　幸子
彼岸花赤く色めく秋近し　飯塚美知雄
秋日和両足垂らしカメ親子　長　政夫
芽汁惹かれて入る道の駅　西野きみ子
咲き続け少しうとまし芙蓉かな　金子　典子
一人行く枯れ葉の路のかさこそと　関矢　敏夫

ほうとうの鍋にあふれし秋の味　石橋弥代江
露天から秋空映す田沢湖が　岩上　亘
晩秋の竹筒伝う水の音　斎藤真紀子
晩秋やしみじみ思ふこと多し　宮尾　静子
晩秋や水琴窟の音澄めり　中谷　和子
晩秋や緑青深き音色かな　中繁貴美子
吾守る夫の去きたり晩秋を　大塚　初代
農技センター大学先生実継可能　金子　文一

実石榴の主呼ぶ叫び鄙の里　砂川　登一

短歌

高齢者輪投げ大会出場す成果もだせず逆夢となり　持田　静江
立葵その横には彼岸花秋の気配に時は移りゆく　瀬下　礼子
七頭舞踊る我が孫五年生真剣顔に思わず涙　小林なみ子
夜空に咲く大輪花に胸踊り
　みんなの笑顔おうらの祭り　須永　君江
長雨の最後に台風雲一とう
　次の日あかねの台風きたる　大塚　博司
思はざる齢を生きをり健康は
　日毎のウォーク役場周辺　壽命　秀次

広告

広告面

広告面

広告面

広告面

広告面

広告面

広告面

広告面

広告面

広告面



大会優勝メンバーで小中学生の練習相手をする小島さん

上毛かるた世界一 感じた成長と感謝



小島 優さん
（天王元宿・5区）

こじま・ゆたか●2002年生まれ。都内の会社で勤めていたが、上毛かるたがやりたくて7月から町内にある父親が経営する会社へ転職。『好きなかるたの絵札は「ち」です。ちから合わせるというワードが、私たちのチームにぴったりだからです』と語る（関連は本紙16ページ）。

上毛かるたを始めたのは小学1年生の時。3年生になって初めて町の大会で準優勝し、郡大会へ出場。その後の町の大会で毎年優勝を重ね、中学2年生の時に郡大会で優勝、県大会では4位入賞することができました。

高校生で一度かるたから離れましたが「また、かるたがやりたい」という気持ちが強くなるばかり。大学時代や就職してからも上毛かるたを続け、一番大きな大会である上毛かるた世界一決定戦の優勝を目標に、本格的な練習を始めました。チームは姉と友だち、高校生のメンバーを補欠に加えた4人で結成。上毛かるたでは、チームワークだけでなく、一人一人が自分の役割を果たすことも大切です。姉とは目を合わせるだけで状況や作戦を共有でき、もう一人のメンバーには自由に動いてもらいながら、姉と私で支える作戦で世界一決定戦に臨みました。

初戦は相手に流れを取られて敗れましたが、2試合目からは『楽しくやろう』と声を掛け合って、気持ちを切り替えました。その後は順調に勝ち進み、初優勝を果たしました。ここまでの練習から優勝までの経験は、私を人間的に成長させてくれました。

大会練習中も普段の練習の準備や、他の地区との連絡などを任されていました。選手としてやっている時には気付かなかった、裏で支えてくれる人たちの存在を知り、深い感謝を感じています。支えてくれた人たちに恥じないプレーを続けるためにも、優勝したからといって、手は抜けません。どんな状況でも札を取れるように、さらに練習を重ねていきます。

大好きな邑楽町と上毛かるたを支える一人として、小中学生の指導にも力を入れ、上毛かるたの魅力を次の世代へ伝えていきたいです。

・若・者・紹・介・ DREAM 夢

おうらまちこんな場所



黒崎 日香莉さん　23歳
Kurosaki Hikari
（明野・34区）

■現在は何をしていますか？
佐野市にある保育園で保育士として勤務して3年目。4月から3歳児の担任をしています。

■この道を選んだ理由は？
小学生の頃、同じ習い事に通っていた年下の子どもたちと遊ぶ機会がよくありました。一緒に楽しく過ごすうちに「子どもたちを笑顔にしたい」と思うようになったのがきっかけです。子どもたちと楽しく触れ合える仕事がしたいという思いから、保育士を選びました。

■今後の目標は？
卒園してからも「先生に出会えてよかった」と子どもたちの心に残る保育士になることです。私が憧れている先生のように子どもたちの気持ちに寄り添いながら、いつも温かい笑顔で接することを大切にしたいです。職場の先輩たちから学んだことや、町のボランティアで続けているORLCで培った子どもを楽しませることの経験を生かして、少しでも早く理想の保育士に近づけるように頑張ります。

